

1 研究主題と研究のねらい

情報社会に主体的に生きる力を育む教育の研究と実践
—教育の情報化の推進を通して—

2 西予市情報教育委員会夏季研修会

(1) 日時 2017年8月2日

(2) 会場 東宇和教育会館

(3) 講演

講師 大阪体育大学教育学部准教授 岡崎 均 氏
次の内容でお話しいただいた。

- 1 ICTの学校への導入と現状
- 2 マルチメディア環境下の教育
- 3 タブレット端末の教育活用
- 4 深い学びとタブレット端末の活用
- 5 授業を豊かに～西予市の課題とこれから～

(4) その他

「i-system」(三好一哉教諭)、タブレット端末のアプリ(西予市情報教育コーディネーター 國広達也氏)の紹介があった。



<情報教育委員会夏季研修会>

3 成果と課題

(1) 夏季研について

○ ICT活用についてさまざまな事例を紹介していただいたので、参考になった。

- 体育でビデオ録画・再生機能
 - 美術で動画編集機能
 - 社会、家庭科で意見集約機能 など
- 少しの活用で大きな効果が期待できる。

○ マルチメディア教材作成の7原則も紹介していただき、教材作成時に気をつけるべきことが理解できた。

○ 講師が西予市出身の方なので、西予市の課題を踏まえて適切な助言をいただいた。

(2) その他

○ 西予市内小中学校の普通教室には、スクリーン、電子黒板機能付きプロジェクタ、書画カメラ、タブレット端末が整備され、すぐに使える環境が整っている。児童に教材を見せるだけでも教育効果が上がることはわかっているので、どんどん活用していきたい。

それらはいへんすぐれたものであるが、タブレット端末とプロジェクタを無線でつなぐとたびたび途切れてしまう。システムの改善を望む。

○ 2020年度からはプログラミング教育が始まる。実際にプログラミングをする場面も出てくるので、研修を進めるとともに、利用環境を整えていくことも必要である。

※ 現在、普及している子ども用プログラミング言語である「Scratch」などは、動作の対応していないタブレット端末があるので、注意が必要である。

○ 夏季休業中に市教委主催の実技研修会が開かれた。受講者が多かったことから関心の高さがわかる。



<市教委主催の夏季実技研修会>